

2017年度事業報告

(一社) 若草プロジェクト

1 概要

若草プロジェクトは2016年3月に設立、同年4月にキックオフ研修会を京都の寂庵で開催し、事業をスタートさせた。2017年度も、2016年度に引き続き、「つなぐ」「ひろめる」「まなぶ」を3つの柱として事業を実施した。

「つなぐ」については、LINEによる相談活動を(NPO) bond プロジェクトに委託して週3回行った。また、シェルター等の機能を持つ若草ハウスの建設に着手した。「ひろめる」については10月に二周年記念シンポジウムを開催したほか、代表呼び掛け人を中心にマスコミ等に対してさまざまな発信を行った。「まなぶ」については、連続研修会を3回開催した。また、共生社会を創る愛の基金と協働により2016年度に作成した支援者のためのマニュアルにつき、改訂作業も行った。更に、企業とのコラボレーションを企画・運営する機会も得ることができた。今後は、少女と企業を「つなぐ」活動も視野に展開していきたいと考えている。

二年目も、ボランティアスタッフが中心で活動していることもあり、体制面等で多くの脆弱性は完全に解消されていない面もあるが、3つの柱それぞれについて、一定の実績を挙げることができた。今後は、生きづらさを抱えた若年女性たちの問題により具体的にアプローチできるよう、今行っている取り組みを継続しつつ、新しい取り組みにも目を向けていきたい。

2 事業の実施状況

① 「つなぐ事業」

ア.LINEによる相談活動の実施 (NPO 法人 bond プロジェクトに委託)

相談開始 平成28年8月27日

相談の仕組み

毎週 月及び土 13~19時、水 17~19時に2名体制で実施
必要に応じてメール相談、同行支援等につなげていく

相談実績

受付申請数	1027件
相談開始数	966件
メール相談数	71件
電話相談数	19件
同行支援数	8件
保護件数	7件

イ.若草ハウスの建設

東京都内にシェルター、ステップハウス、シェアハウスの機能を併せ持つ「若草ハウス」を設置することとし、2016年度からハード、ソフト両面の検討を開始した。そして、日本財団の協力を得て、2018年3月には建設をスタートさせることができた。なお、若草ハウスは2018年8月に完成し、10月運営を開始することを予定している。

ウ.企業との連携

企業と連携した事業を進めていくこととし、まず、ユニクロ、THEORY等を傘下に持つファーストリテイリングとの連携をスタートさせた。

(ア)「若草×服のチカラ協働プロジェクトに関する合意書」の締結

ファーストリテイリングと連携して、全国の若い女性を支援する施設を対象とした日常生活パックの寄付、ファッションイベントの開催等を進めることとし、10月18日付けで合意書を締結した。

(イ)実行委員会の開催

合意書に基づく連携を具体的に進めるため、代表的な支援施設による実行委員会を組織し、2月1日に第1回を開催した。

(ウ)ファッションイベントの試行的開催

BONDプロジェクトとTHEORY（ファーストリテイリンググループ）によるファッションイベントを12月1日に試行的に開催した。

② 「ひろめる」事業

ア. 設立2周年記念シンポジウム

現代社会の歪みの中で、生きづらさを抱えた若い女性や少女たちが、スマホやインターネットを通じて性犯罪、ポルノ、DV、薬依存などの罠に絡め取られている。彼女たちの心のSOSをキャッチし、支援することが必要であると考え、この問題を広く社会に訴えかけるために、シンポジウムを開催した。

開催月日 平成29年10月16日

開催場所 響都ホール（京都駅八条口前 アバンティ 9F）

参加者 約330名

内容

挨拶 福島 至（龍谷大学矯正・保護総合センター長）

お話 瀬戸内 寂聴（作家、僧侶、若草プロジェクト代表呼び掛け人）

講演1 『つなぐ』『ひろめる』『まなぶ』-若草プロジェクトの事業-

村木厚子（前厚生労働事務次官、若草プロジェクト代表呼び掛け人）

講演2 「女の子たちのいま」

橘 ジュン ((NPO) BOND プロジェクト代表

パネルディスカッション 「少女たちの実情と立ち直りに必要なこと」

コーディネーター 浜井 浩一 (龍谷大学法学部教授)

パネラー 安保 千秋 (弁護士)

齋藤常子 (京都更生保護女性連盟)

森 伸子 (法務省和泉学園長)

森口 由美子 (大阪府立高校養護教諭)

閉会挨拶 大谷恭子 (若草プロジェクト代表理事)

イ.広報活動

(ア)新聞、雑誌等への働きかけ

シンポジウム、研修会等のイベントの記事の新聞・雑誌への掲載
理事、代表呼びかけ人の講演、エッセイ、インタビュー等

(ウ)リーフレット等による広報

リーフレットの作成

ホームページの運営

アドレス：<http://wakakusa.jp.net/index.html>

③「まなぶ」事業

ア.「女の子」たちの今を知り「信頼される大人になる」ための連続講座

第4回 (平成29年4月22日 寂庵 参加者約50人)

性虐待から生き延びる—わたしたちにできることは—

講師：上岡陽江氏

第5回 (平成29年8月5日 更生保護会館 参加者約60人)

非行と少女—支援の現場から—

講師：堂本暁子氏、田川ふれ愛義塾 工藤良理事長

第6回 (更生保護会館 参加者約60人)

少女たちが安心して「助けて」と言える社会に—「座間事件」を繰り返さない—

講師：特定非営利活動法人 OVA (オーヴァ) 代表理事伊藤次郎氏

イ.マニュアルの改訂

「少女 若年女性を支援する人のためのハンドブック」

若い女性たちの環境や心情の理解

援助機関の分野別解説
虐待・性的搾取・依存症・暴力などの事例
頒布価格 500 円

3 総会・理事会の開催状況

機関

代表理事 大谷 恭子
理事 村木 太郎
理事 遠藤 智子
理事 瀬尾 まなほ
理事 牧田 史

総会 平成 29 年 4 月 4 日

2016 年度事業報告・会計報告
任期満了に伴う理事の選任について
会員及び賛助会員の会費について

理事会

第 1 回 平成 29 年 4 月 4 日
第 2 回 平成 29 年 5 月 16 日
第 3 回 平成 29 年 6 月 7 日
第 4 回 平成 29 年 7 月 26 日
第 5 回 平成 29 年 8 月 30 日
第 6 回 平成 29 年 9 月 19 日
第 7 回 平成 29 年 10 月 11 日
第 8 回 平成 29 年 11 月 13 日
第 9 回 平成 29 年 12 月 15 日
第 10 回 平成 29 年 2 月 20 日

臨時理事会

第 1 回 平成 30 年 1 月 18 日
第 2 回 平成 30 年 2 月 5 日
第 3 回 平成 30 年 2 月 28 日
第 4 回 平成 30 年 3 月 19 日

4 会員、賛助会員の状況

正会員 5 名 (代表理事・理事から成る)
賛助会員 157 名
合計 162 名